
Knock

アレシア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Knock

【Nコード】

N7273P

【作者名】

アレイシア

【あらすじ】

気付けば目の前には白い、裾を足元まで伸ばしたポンチヨのような、まるで現代とは掛け離れた服装をした、男女合わせて十人ほどが私に向けて頭を垂れているという、意味不明理解不能の光景が広がっていた。

……一体、何が起こったのだろうか。

状況が把握できず目をパチパチとしている俺に、一番近い女がこう

告げる。

「どうか我等を救い、導いてください、魔王様。」

「ごめん、無理。」

何か色々と間違いがありそうなので、問答無用で断りました。

遙か虚空に浮く救世主

・・・私は、間違っていたのだろうか。

誰もいない部屋。何も無い空間。一人呟いたその言葉もまた、私を置いて行った者達と同じく、目の前で消えて行く。

・・・ならば、正しさとはなんだろうか。

自問自答。既に何度同じ問いを繰り返したのだろう。いつになれば答は見つかるのだろう。

その問いの答すら、見当もつかない。

・・・私は…どうすれば良いの？

今はもう存在しない人の名は、それだけで愛おしく。

その記憶は、それだけで胸の鼓動を早め。

その痛みは、忘れることを拒絶するかのようになり、増していく。

・・・……アレス。

悲しみを抱えたまま生きる気高く醜い守護者は、今日もまた審判の日を待ち続ける。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7273p/>

Knock

2010年12月31日00時58分発行